

第 5 回総務産業常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 8 年 8 月 21 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、山崎真由美、遠藤隆男、川村幸栄、清水一夫、水間健詞				
委員外議員	なし				
欠席委員	中畠孝幸				

審査及び報告事項

【 1 】 建設水道部所管事業について

1) 第 3 回定例会建設水道部主な補正予算概要について

① 除排雪業務に係る補正について

設計時に使用する労務費（北海道単価）、機械損料、除排雪実績における設計数量の変更に伴い増額補正

- ・市道除雪業務委託料
- ・市道排雪業務委託料
- ・雪堆積場等除雪業務委託料

【 2 】 経済部所管事業について

1) 第 3 回定例会提案予定の議案

- ・名寄市農業委員会の委員の定数に関する条例の一部改正について
農業委員の定数を減員（27 人から 25 人）するため、本条例の一部を改正
- ・名寄市手数料徴収条例の一部改正について
農地中間管理事業の推進に関する法律による不動産登記の特例に関する政令の施行に伴い、嘱託登記に関する手数料について廃止

2) 主要農作物生育状況について

水稻（平年並）、秋まき小麦（収穫作業は順調に進んだ）、大豆・てんさい・牧草・飼料用とうもろこし（順調）、馬鈴薯（やや進んでいる）、スイートコーン・カボチャ（高温で今後品質低下が懸念される）アスパラガス（農協への出荷量で昨年比約 6 割）

- ・有害鳥獣対策について（7 月 31 日現在）
エゾシカ 401 頭（昨年比 7 頭減）、アライグマ 235 頭（昨年比 16 頭増）、ヒグマ 14 頭（昨年比 6 頭増）をそれぞれ捕獲、

3) ヒグマ緊急銃猟制度の概要と実施体制について

「名寄市ヒグマ緊急銃猟対応マニュアル」作成

- ①実施主体 市町村長（実務的な実施決定権限は経済部長）
- ②場所 住居、広場、道路、農地などの「人の日常生活圏」とその付近
- ③実施条件 以下の 4 条件全てを満たす場合のみ
 - ・ヒグマが人の日常生活圏に侵入している。または侵入する恐れが大きい。
 - ・人の生命・身体への危害を防止するため、緊急の措置が必要である。

- ・銃猟以外の方法では、的確かつ迅速な捕獲が困難である。
- ・避難措置等により、地域住民等に弾丸が到達するおそれがない。

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q、緊急措置に対する訓練は。

A、担当課だけでは人員が不足するため、経済部（農務課、産業振興課）、名寄市ヒグマ駆除隊（環境生活課・総務課）、秘書広報課の協力により体制を構築

Q、日常業務ではないことへの対応は。

A、マニュアルをホームページに掲載する。

意見、事故が起きない対応を求める。

【3】総合政策部所管事業について

1) 総合政策課

- ・地域の事業者間連携を通じた物流生産性向上推進事業の採択について

事業実施主体 北・北海道物流拠点検討協議会（事務局：名寄市）

補助金の額 2,000 万円

事業期間 交付決定日～令和 9 年 2 月 12 日まで

事業内容 共同輸送の実行計画策定・民間事業者との連携・物流 D X 導入検討

- ・ゼロカーボンチャレンジャー事業について

家庭での節電をテーマに実施

省エネを意識するきっかけづくりと脱炭素への関心を高める

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q、現在の申込み状況は。

A、78 名（8 月 21 日現在）であり、産業まつりにブースを設置し啓発予定

2) 地域課題担当

- ・「のるーと名寄」の本格運行に向けた対応について

道路運送法第 21 条による実証運行（令和 5 年 11 月～令和 8 年 10 月）を経て、本格運行へ移行（令和 8 年 11 月～）

- ・名寄市利雪親雪推進市民委員会の委員委嘱について

委員 10 名を委嘱（任期 令和 8 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q、前任期の委員数は 15 名、定数は 20 名である。今期 10 名の委嘱となったのは。

A、大学生の委員が少なくなったのが理由

意見、「名寄の冬を楽しく暮らす条例」もあるなかで、必要な委員数の確保を念頭においていただきたい。

3) 秘書広報課

- ・令和 7 年度ふるさと納税寄附金募集実績について

合計金額は、前年比 130.8%にあたる 3 億 3,914 万円

寄附の使途別件数は「子育てに関する事業」が 28.39%、9,326 万 4,500 円で最も多かった。

4) 交流推進課

- ・国際および国内交流に関する取組について
中山大学西湾学院サービスラーニングについて →7月16日~28日まで5名が来名
リンゼイ交換学生 →7月15日~9月4日まで男性1名・女性1名が来名
名寄・藤島交流友の会 →第48回なよろ産業まつり(8月23日)で鶴岡市特産品販売
第67回東京高円寺阿波おどり大会について →8月29日~31日、計25名が参加
スイートコーンまつりについて →8月29日~30日、東京都杉並区3カ所で合計950本のスイートコーンを販売

5) スポーツ政策課

- ・なよろ街なか運動会について
9月5日、名寄駅前商店街を会場に開催
- ・スポーツ国際交流員について
8月5日、ケイデン・ローガン・ハーディン氏(バレーボール)着任
8月26日、マケト・ビンザンギ氏(バスケットボール)着任予定
9月30日、カーリング専門スポーツ国際交流員着任予定

6) 大学法人化準備室

- ・名寄市立大学法人移行スケジュールについて
令和9年3月の議決予定を前倒しして、令和8年12月に議決予定
- ・公立大学法人名寄市立大学の定款の策定について
- ・公立大学法人名寄市立大学第1期中期目標の制定について
第3回定例会 定款提案、中期目標提案
第4回定例会 定款議決、中期目標議決
- ・推進委員会の確認事項について
名寄市立大学法人移行推進委員会アドバイザーに、その他有識者の区分で旭川医科大学
学長西川祐司氏着任(令和8年8月1日~令和9年3月31日)
令和8年8月3日までに5回の推進委員会
ガバナンス体制について
名寄市立大学への出資財産、譲与物品について
人事に関する事項
教員人事評価制度の導入について

【4】総務部所管事業について 報告事項について

1) 総務部(デジタル推進担当)

- ア) 名寄市生成AI利用ガイドラインの策定について
情報漏洩の徹底防止、結果に対する責任、市民のための適正利用を基本原則とする指針
コモンズAIを公式ツールとして利用

〈主な質疑及び答弁要約〉

Q、コモンズAIとはどのようなものか。生成AI利用にあたっての職員研修は。

A、コモンズAIは国内外の主要なAIモデルであり、業務内容や用途に応じて切り替えて
使用できる生成AIのプラットフォームと言えるもの
利用希望職員の登録者は250人

3月に職員研修会開催、令和8年度よりデジタル活用クラブ設置

2) 財政課

ア) 令和8年度普通交付税交付額の決定について

当初予算 91 億 7,000 万円に対し、交付決定額 91 億 4,105 万 6,000 円(2,894 万 4,000 円減)

イ) 普通財産の売り払い等について

物件番号 1 土地 名寄市西 10 条南 1 丁目 97 番 4、97 番 9

物件番号 2 土地 名寄市東 2 条北 5 丁目 4 番 7 (旧木原天文台跡地)

物件番号 3 土地 名寄市西 6 条北 4 丁目 1・2・3 番 11・12・13 番 (旧西保育所跡地)

物件番号 4 土地及び建物 名寄市風連町仲町 138-8・14 (風連国保診療所旧医師住宅)

以上で第5回総務産業常任委員会を終了

報告者 総務産業常任委員会副委員長 山崎 真由美